



主催：明治大学情報コミュニケーション学部ジェンダーセンター
定例研究会



男性にとって「産む」とは何かな？
めいじろうと一緒に考えよう！

申込不要

入場無料

生殖の当事者 とは誰か？

—生殖補助医療技術がもたらした男性性の変容—

講演者：齋藤圭介氏
(岡山大学文学部准教授)

岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授。専門は社会学。生殖の問題をジェンダーの視点（とくに男性の立場）から研究している。現在は生殖補助医療技術を用いた夫婦へのインタビュー調査を進めている。主な著書・論文に「〈生殖と男性〉の社会学—ジェンダー理論における平等論・再考」（博士論文）などがある。

2019年1月16日（水）
18:00～（開場17:30）

明治大学駿河台キャンパス
グローバルフロント1階グローバルホール

コーディネーター・司会：出口 剛司氏
(ジェンダーセンター学外運営委員、東京大学大学院准教授)

【お問い合わせ先】
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
明治大学駿河台キャンパス
明治大学情報コミュニケーション学部ジェンダーセンター
TEL: 03-3296-4436 / E-mail: gender@meiji.ac.jp

センターのTwitterはこちら 

